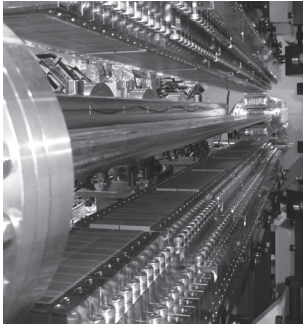


「加速器」

Vol.9, No.1
(2012. 4. 30 発行)



表紙写真の説明

広島大学放射光科学研究センターの小型光源リングHiSORに挿入されているAPPLE-II型準周期可変偏光アンジュレータ。磁場周期長は76 mm、全長は約1.8 m。写真はギャップ全開(200 mm)、磁石位相0(水平直線偏光モード)の状態に撮った。準周期化は、各磁石列中6ヶ所の磁石をビーム軸から遠ざけることにより行った。この準周期化により、放射スペクトル中での高次光ピーク位置が基本波の整数倍から無理数倍の位置にシフトし、直線偏光モードでもモノクロメータを通った後の光の単色性が周期的アンジュレータからのそれより大幅に改善された。このアンジュレータでは、最小ギャップ(23 mm)時に水平偏光モードで3.1 eV、円偏光モードで4.8 eV、垂直偏光モードで6.5 eVの光子エネルギーの放射光を発生できる。詳細は本誌記事参照。

佐々木茂美
(広島大学放射光科学研究センター)

・巻頭言	劉 遠中	1
・第5期会長から	生出 勝宣	2
・解説		
HiSOR 準周期可変偏光アンジュレータ QP-APPLE-II	佐々木 茂美, 宮本 篤, 後藤 公德	3
・話題		
産総研電子加速器施設の震災後の状況	鈴木 良一	10
筑波大学タンデム加速器施設の震災被害と復興計画	笹 公和	14
重粒子線治療プロジェクト SAGA-HIMAT	金澤 光隆, 遠藤 真広, 佐藤 弘史, 光武 亨剛	22
J-PARC MR の運転状況		
ービームコミッションングの進捗と震災からの復旧ー	小関 忠, MR 加速器グループ	30
・会議報告		
TeraNano 2011&GDR-I THz 2011 レポート	黒田 隆之助	41
第9回高輝度・高周波電子銃研究会報告	坂上 和之	45
・掲示板(関連会議情報・会告)		49
・投稿募集・広告募集・投稿の手引き・入会申込書・賛助会員名簿		53